



新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜ぷ

白 花

第36号 : 29. 7. 15

7月の例会は、先月と同様、各自スケジュールが合わせるのが難しかったらしく、少人数の例会となりました。



今月は久々に代表山ちゃんの進行で始まりました。

まずは報告事項を3点。

①9月初旬に江別手打ち蕎麦愛好会によるイベント開催が予定されており、当会に参加の要請が来ています。

全麺協加入後初めてのイベント参加なので、「手打ちそばぐる〜ぷ白花(びゃくか)」の存在を知ってもらえる貴重な第一歩ですから、メンバー各位の多数の参加をお願いします。

②10月に江別で開催される段位認定審査会に、当会からエントリーする方は残念ながらいません。各自仕事を抱え

てのそば打ちですから、月1回の例会だけでは練習時間の不足は補えません。上手になるためには緊張感を持って練習しないとなかなか結果が付いてきませんので、例会とは別の日に集中的に練習する場所を設け、来年の石狩での審査会を目標として決意を新たにしましょう。

③毎年、喜茂別町双葉でMさんにそばを栽培していただいていたのですが、そばの刈り取り機が故障し、修理に膨大な費用がかかるため、今年のそば作付は中止となりました。



道内産の、しかも、生産者の顔の見えるそばを毎年楽しみにしていましたが、残念です。

今月は、tanboさんの知り合い4名が体験打ち希望で来場されました。19歳~22歳の大学生で、うち1人はカナダ人男性でした。

女性2人にはMu-さんを、男性2人にはむっちゃんを指導者にあて、約1時間半集中し

てそば打ちをして頂きました。

4人とも、そば打ちの奥深い技術に感心し、大満足の様子でした。特に女性2人の瞳がキラキラと輝いて、更に、その内の1人は初めてそば粉にさわったようですが、その器用さに会員一同が唖然とするほどで、当会の「若者」を思わせるような手さばきで感心しました。

帰りには、G10さんが打ったそばをお土産にして大満足



で帰られ、後日、tanboさん宅にそば打ちのお礼の挨拶がありました。
できるなら、こういう人にも入会してもらって白花で育てられたら最高ですよ。



当然2次会にも多数流れて、暑さを忘れる熱唱、熱唱でおじさん達の夜は更けていきました。(この時点で、もう、そば打ちは関係なくなっちゃった…。)

やっぱり人生いろいろありますから、時には思いっきり「息抜き」も必要ですよ。



【留萌おがGより】

みなさん、ご無沙汰してます。おがGです。
僕は単身赴任しているので、寝るところと最低限のキッチンくらいあれば生活していけるんですが、住んでいる職員住宅は居間のほかに2つも部屋があります。で、かねてから1部屋をそば打ち部屋にすべく、会議用テーブル(例会で使ってる折り畳み式のあれ)を探していたところ、市による廃校になった学校の備品譲渡会があり、運よく2脚入手することが出来ました。

そば粉等は5*ほど持って行っていたため、一部の職員10名ほどを自宅に招き、「手打ちそばを食べる会」を催しました。その際には、tanboさんにつゆをご用意していただき託送していただいたんですが、つゆに加え、なんと既に打ち上がったそばも入っているではありませんか。当然、集まったみんなにはtanboさんのそばを食していただきました。みんな、とっても喜んで食べてました。この場をお借りしてお礼をさせていただきます。

その夜には、恒例の納涼会がススキノの「北の味大助」で盛大に開催されました。

残念ながら、新入女性会員は仕事の都合等で参加出来ませんでした。

が、なんと poupeさんがとっても可愛い浴衣姿で現れ、感嘆の声と拍手で一層盛り上がりました。また、料理も今までの納涼会で最高でした。

当然2次会にも



別件ですが、留萌に転勤

されたおがGさんが、自宅に部下職員を招いて「手打ちそばを食べる会」を計画し、盛大に催されたとのこと。来月の例会でその報告を待ちましょう。

